

# 施策評価シート（平成27年度実績評価）

## ◎ 施策の基本情報

|               |       |   |     |          |             |                             |           |       |             |      |
|---------------|-------|---|-----|----------|-------------|-----------------------------|-----------|-------|-------------|------|
| 総合計画<br>中期プラン | 政策No. | 1-3   | 政策名 | 商業の振興    | 政策の<br>目指す姿 | 商業機能を充実し、人とモノの流れを活発にしています   | 施策<br>主管課 | 商工労政課 | 施策主管<br>課長名 | 古川 昌 |
|               | 施策No. | 1   | 施策名 | 商業形態の多様化 | 施策の<br>目指す姿 | 消費者ニーズに対応した多様な商業形態が形成されています | 関係課名      |       |             |      |
|               | 現状と課題 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自家用車の普及による郊外型の大規模小売店の立地や、大規模資本による通信販売やインターネット販売の普及など、消費者のライフスタイルの変化やニーズの多様化に対応した新しい商業形態が消費者に受け入れられています。</li> <li>・市内での買い物に満足している市民の割合は6割弱（市民アンケート）であり、市全体の商業サービスとして考えると、十分に消費者ニーズに対応しているとは言えない状況にあります。</li> </ul> |     |          |             |                             |           |       |             |      |

## 1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取り組み実績

### (1) 商業機能の充実

#### ○ 地元事業者による多様な新事業展開への支援

##### ・ 商店街賑わい再生戦略事業

商店街自らが行う事業性、継続性のある商店街活性化事業を支援。

地域イノベーション戦略の中で伴走支援を行うとともに、自立までの経費の一部を時限により補助

##### ・ 買い物困難者対策

買い物困難者対策を行う民間事業者への支援

## 2 成果指標

| 成果指標名               | 成果指標設定の考え方<br>(なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)                      | 成果指標の測定企画<br>(どのように実績を把握するのか)                                      | 単位 | 数値<br>区分 | H23 | H24  | H25<br>(基準年度) | H26  | H27  | H28  |
|---------------------|---|--|----|----------|-----|------|---------------|------|------|------|
|                     |   |  |    |          |     |      |               |      |      |      |
| 市内での買い物に満足している市民の割合 | 市内での買い物の満足度を測る。<br>多様な商業形態が形成され消費者ニーズを満足させることが施策の目的であるから。 | 市民アンケート<br>問:「あなたは市内での買い物に満足していますか？」<br>1 満足<br>2 どちらかという満足と答え人を集計 | %  | 目標値      |     |      |               | 57.0 | 58.5 | 60.0 |
|                     |   |  |    | 実績値      | -   | 57.6 | 54.4          | 56.4 | 57.5 |      |
|                     |   |  |    | 目標値      |     |      |               |      |      |      |
|                     |   |  |    | 実績値      |     |      |               |      |      |      |
|                     |   |  |    | 目標値      |     |      |               |      |      |      |
|                     |   |  |    | 実績値      |     |      |               |      |      |      |
|                     |   |  |    | 目標値      |     |      |               |      |      |      |
|                     |   |  |    | 実績値      |     |      |               |      |      |      |

## 3 成果指標の達成状況

| 達成度 | 達成状況に関する背景・要因   |
|-----|---|
| B   | <p>■ 成果指標「市内での買い物に満足している市民の割合」・・・【b】</p> <p>目標値は達成できなかったが、大規模小売店舗の新たな立地(南新田)により実績値が上昇した。<br/>アンケートの結果により30～39歳の層が不満をもっている状況にあることから、子育て世代が求める需要に応えられていないと分析。</p> |

#### 4 施策を構成する事務事業一覧

| 番号 | 事務事業名  | 担当課   | 施策への貢献度 |    |
|----|--|-------|---------|----|
|    | 事業内容(実績)   |       | 直結度     | 成果 |
| 1  | 商店街賑わい再生戦略事業   | 商工労政課 | B       | C  |
|    | ・専門家による商店街関係者を対象としたセミナーやワークショップの開催<br>・商店街自らが行う事業性、継続性のある商店街活性化事業に対し、地域イノベーション戦略の中で伴走支援を行うとともに、自立までの経費の一部を時限により補助（「小さな百貨店ぶらっと」石鳥谷中央通り商店街振興会） |       |         |    |
| 2  | 買い物困難者対策   | 商工労政課 | B       | C  |
|    | 買い物困難者対策を行う民間事業者への支援   |       |         |    |
|    |  |       |         |    |
|    |  |       |         |    |
|    |  |       |         |    |
|    |  |       |         |    |
|    |  |       |         |    |
|    |  |       |         |    |
|    |  |       |         |    |
|    |  |       |         |    |
|    |  |       |         |    |
|    |  |       |         |    |
|    |  |       |         |    |

#### 5 施策を構成する事務事業の検証

(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)

(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)

・既存商店街の事業者が行う、事業性、継続性のある事業を創出し、支援を行うことは必要である。

(新たに取り組むべき事業はないか)

・都市部、農村部に限らず、買い物困難者への支援が必要となっている。

#### 6 施策の総合的な評価

(課題)

・郊外型の大規模小売店の立地や、大規模資本による通信販売やインターネット販売の普及など、消費者のライフスタイルの変化やニーズの多様化に対応した新しい商業形態は整っているものの、少子高齢化、既存商店の衰退・現象など、買い物に困っている高齢者等への支援の必要性が高まっている。

(今後の方向性)

・福祉と商業が連携し、買い物に困っている高齢者等の状況を把握するとともに、買い物困難者対策を行う事業者等への支援策を講ずる。